

身近な人からつながる支援

Team ORANGE

チームオレンジ、活動中！

特集

認知症は誰でもなりうるもので、令和7年には高齢者の5人に1人は認知症になると推計されています。市では、認知症本人や家族、地域住民が一緒に支える仕組みづくりをめざしています。今回は「チームオレンジ」についてご紹介します。

チームオレンジとは、認知症の人やその家族の思いを理解し、ご近所の応援者（サポーター）がチームとなって、生活面などを早期支援する取り組みです。

多久市では「オレンジコーディネーター」を中心に準備を進め、令和3年6月に南多久町西ノ谷地区からスタートしました。その後も複数の地区で支援の輪が広がっています。

あなたの地区でも、チームオレンジ活動を始めてみませんか？ 興味がある方は、高齢・障害者支援課までお問い合わせください！

チームオレンジとは？

多久市では15か所で活動中です

※11月21日現在

多久原の活動は次ページで紹介！



- 1 古賀三区
- 2 別府二区
- 3 東多久合同
- 4 西ノ谷
- 5 庄
- 6 長尾
- 7 南多久老人会
- 8 西の原
- 9 東の原
- 10 柴町
- 11 浦町
- 12 石州分
- 13 撰分
- 14 原口
- 15 多久原

どうして「オレンジ」なの？

オレンジは認知症支援のシンボルカラーです。

認知症支援の取り組みを多くの人に知ってもらうことを目的に、オレンジ色を目印としています。

また、温かさを感じさせるこの色は、支援の精神を表現しています。